

【報道関係各位】

制度開始直前! 番号ポータビリティ制度の利用意向調査

番号ポータビリティ制度を利用して「キャリアを変更したい」 わずか1割未満
キャリアを変更しない理由は? 「現在のキャリアに満足している」(61%)

2006年10月20日
株式会社マクロミル
(証券コード:東証一部 3730)

株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:辻本 秀幸)は、全国15歳以上の携帯電話ユーザを対象に、10月24日(火)から始まる「番号ポータビリティ制度」の利用意向を調査いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2006年10月17日(火)~10月18日(水)。有効回答数は1,030名から得られました。

【調査結果概要】

【1】番号ポータビリティ制度を利用して「キャリアを変更したい」1割未満

10月24日から開始する番号ポータビリティ制度を利用して携帯電話会社(以降、キャリア)を変更したいと思うかどうか尋ねたところ、現時点(調査10月17日・18日)で、「キャリアを変更したい(既に申し込んでいる)」と回答した人は1割未満の7%にとどまり、「変更したいと思わない」が63%、「分からない」は30%という結果でした。

一方、はじめて制度を知った時にはどう思ったかを尋ねると、「キャリアを変更したい」19%、「分からない」16%、「変更したいと思わない」64%でした。当初の印象に対して制度開始直前の現在では、キャリア変更意向が10ポイント以上低下し、「分からない」が10ポイント以上高まっている変化が伺えます。

【2】制度メリットと主な移行条件に関する認知進む

「番号ポータビリティ制度」に関するメリット・移行時の制約条件について知っていることを尋ねると、「これまでと同じ電話番号を利用できる」は99%が認知しています。一方、移行の制約条件に関しての認知は「メールアドレスは引き継げない」(77%)、「契約変更には手数料がかかる」(76%)、「ポイントサービスが引き継げない」(66%)、「料金プラン・割引サービスが引き継げない」(66%)となっており、主な制約条件の認知も進んでいるようです。

【3】キャリア変更時の重視ポイント「料金割引制度」が87%でトップ

番号ポータビリティ制度の利用意向がある人、現時点で分からないと回答している人に、キャリア変更時の重視ポイントを尋ねたところ、「料金割引制度」が87%とトップでした。

【4】9割がキャリアを変更しない理由は? 「現在のキャリアに満足している」6割

「キャリアを変更したいと思わない」「現時点では分からない」と回答している9割の回答者に、キャリアを変更しようと思わない理由を尋ねたところ、トップは「現在のキャリアに満足している」(61%)となりました。このほか、「変更には手数料がかかる」(50%)、「メールアドレスが引き継げない」(48%)、「手続きが面倒」(46%)、「料金割引サービスが引き継げない」(42%)などの理由が上位にあがりました。

現キャリアへの満足度が高く、とくに変更の必要性を感じていない携帯ユーザが多いことや、手数料や移行の制約条件を考えて、キャリア変更意欲が高まらない携帯ユーザの心理が伺える結果となりました。

「番号ポータビリティ制度に関する調査」

【調査結果詳細】

調査概要

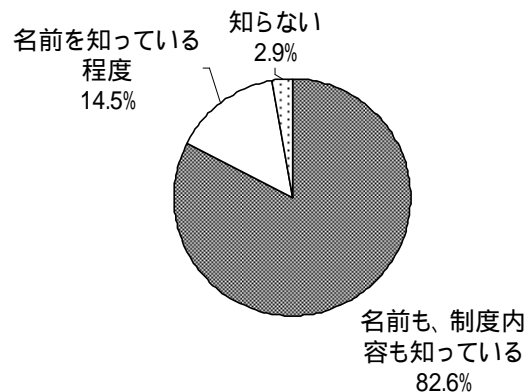
調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	全国
調査対象:	自分名義の携帯電話を所有している、15歳以上のマクロミルモニタ会員
有効回答数:	1030 サンプル
調査日時:	2006年10月17日(火)～10月18日(水)
調査機関:	株式会社マクロミル

番号ポータビリティ制度の認知 97%

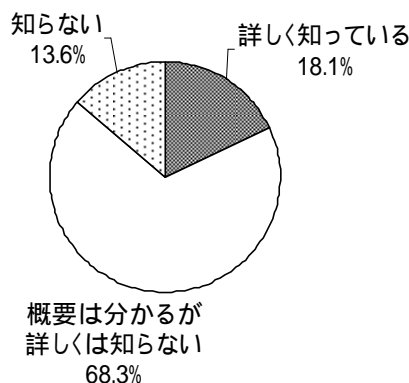
10月24日(火)から始まる「番号ポータビリティ制度」を知っているか尋ねたところ、97%の人が「知っている(名前も制度内容も知っている+名前を知っている程度)」と回答しました。

制度を知っている人に「番号ポータビリティ制度」を利用する際の手続き方法や移行の詳細条件を知っているか聞いたところ、「詳しく知っている」という回答は18%にとどまり、「概要は分かるが詳細は知らない」が68%という結果でした。

Q. あなたは、平成18年10月24日(火)から始まる「番号ポータビリティ制度」をご存知ですか？ <全員 n=1030>



Q. あなたは、「番号ポータビリティ制度」を利用する際の手続き方法や移行の詳細条件をご存知ですか？ <ベース=番号ポータビリティ制度認知者 n=1000>

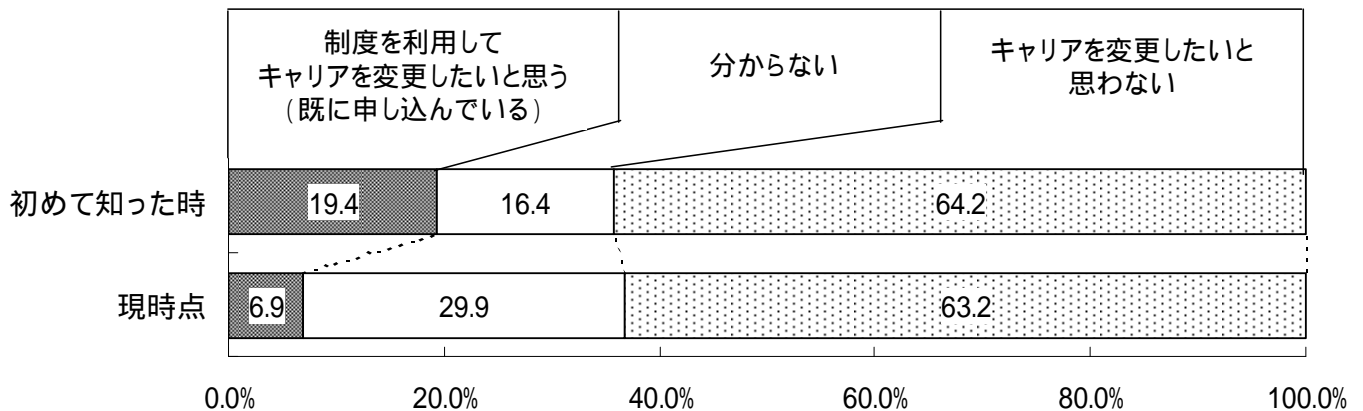


「番号ポータビリティ制度」を利用してキャリアを変更したい 1割未満

10月24日から開始する番号ポータビリティ制度を利用して携帯電話会社(以降、キャリア)を変更したいと思うかどうか尋ねたところ、現時点(調査10月17日・18日)で、「キャリアを変更したい(既に申し込んでいる)」と回答した人は1割未満の7%にとどまり、「変更したいと思わない」が63%、「分からない」は30%という結果でした。

一方、はじめて制度を知った時にはどう思ったかを尋ねると、「キャリアを変更したい」19%、「分からない」16%、「変更したいと思わない」64%でした。当初の印象に対して制度開始直前の現在では、キャリア変更意向が10ポイント以上低下し、「分からない」が10ポイント以上高まっている変化が伺えます。

Q. あなたは、「番号ポータビリティ制度」を利用して、携帯電話会社(キャリア)を変更したいと思いますか? <ベース=番号ポータビリティ制度認知者 n=1000>

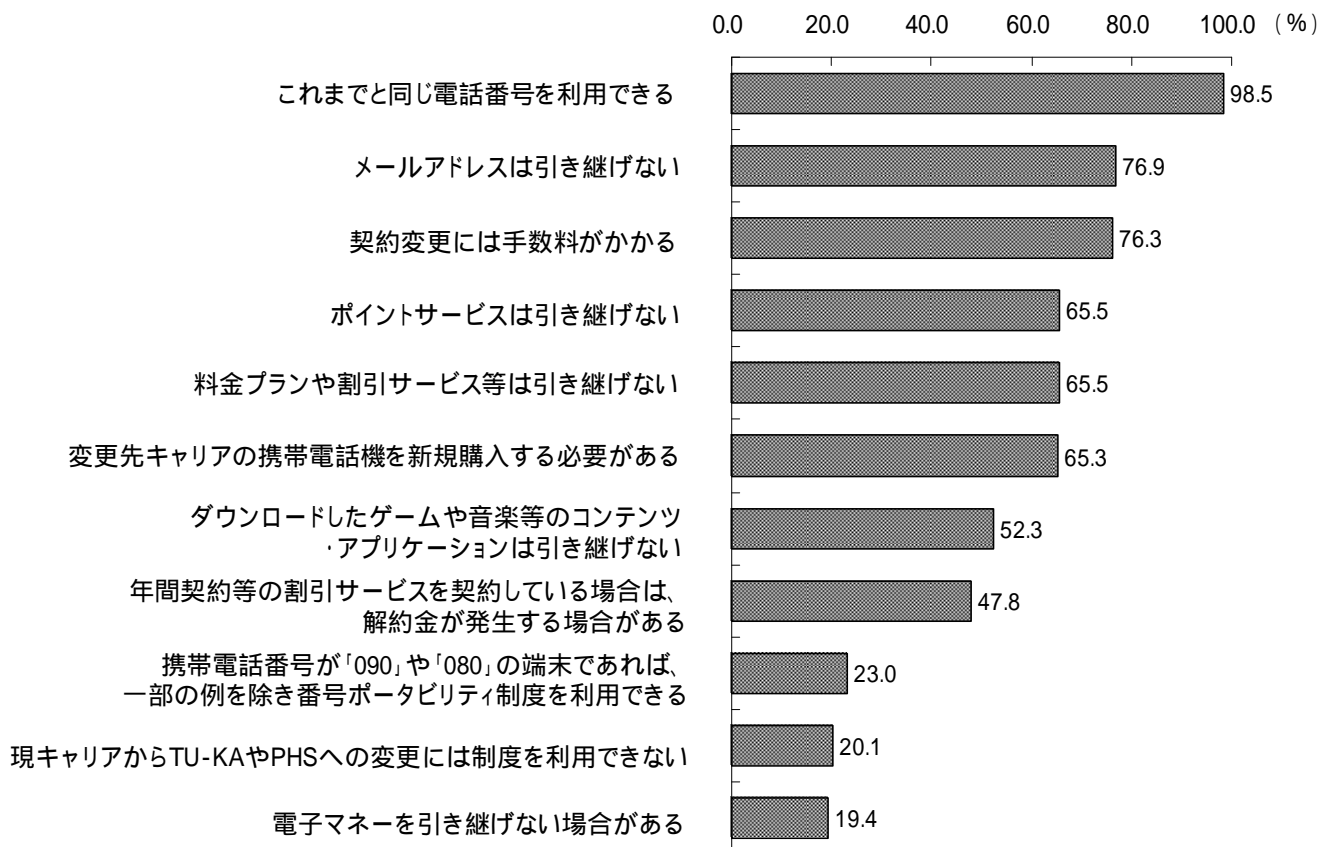


制度利用時の条件に関する認知進む

「番号ポータビリティ制度」に関するメリット・移行時の制約条件について知っていることを尋ねると、「これまでと同じ電話番号を利用できる」は99%が認知しています。

一方、制度利用時の移行条件に関する認知は「メールアドレスは引き継げない」(77%)、「契約変更には手数料がかかる」(76%)、「ポイントサービスが引き継げない」(66%)、「料金プラン・割引サービスが引き継げない」(66%)となっており、主な制約条件の認知も進んでいるようです。

Q.「番号ポータビリティ制度」について、現時点であなたをご存知の内容をお知らせ下さい。(複数回答) <ベース=番号ポータビリティ制度認知者 n=1000>

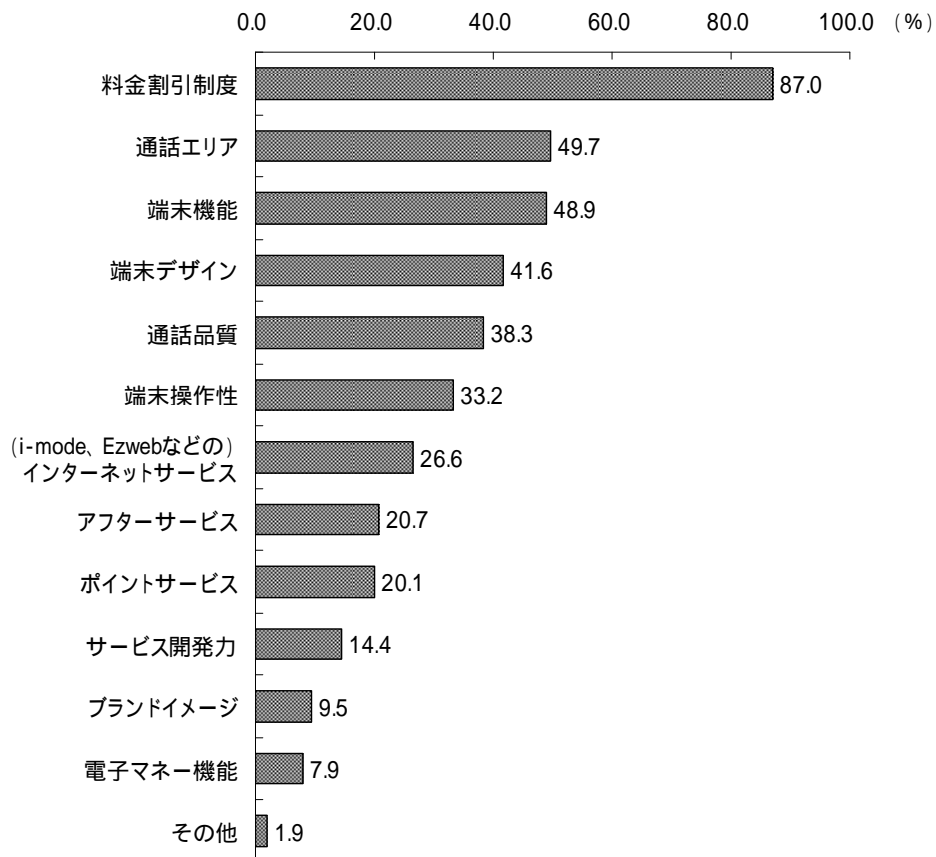


携帯電話会社変更時に重視するポイント 「料金割引制度」が87%でトップ

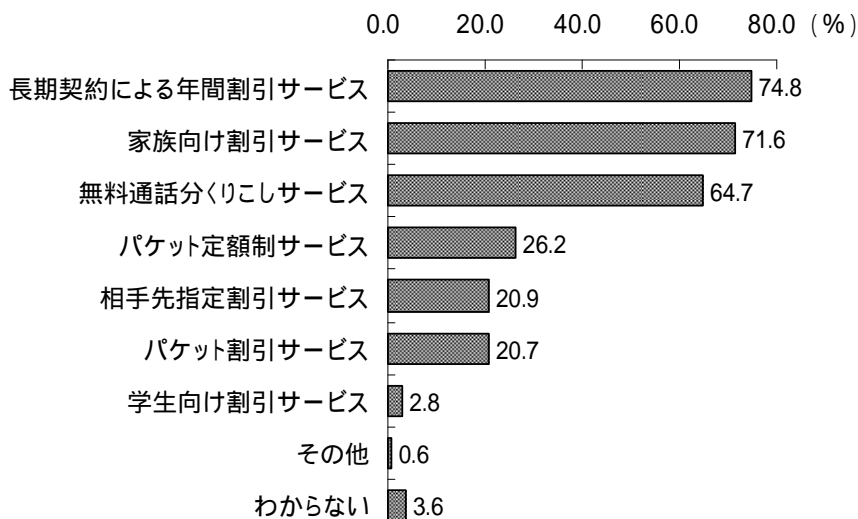
「番号ポータビリティ制度」の利用意向がある人、また現時点ではわからないと回答した人に対してキャリア変更時の重視ポイントを尋ねたところ、「料金割引制度」が87%でトップでした。

なお、現キャリアで利用中の割引サービスは、「長期契約による割引サービス」が75%、「家族割引サービス」が72%、「無料通話分くりこしサービス」が65%となっており、携帯ユーザは、現キャリアでもさまざまな料金割引サービスを利用しています。

Q. 携帯電話会社(キャリア)を変更する際に、あなたが重視する点をお知らせ下さい。(複数回答)
<ベース=現時点で番号ポータビリティ制度利用意向がある、まだ分からない方 n=368 >



参考: Q.現在のキャリアで利用している割引サービス (複数回答) <全員 n=1030 >

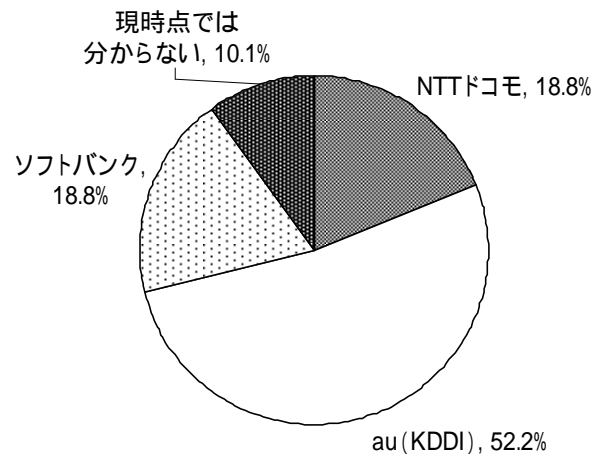


変更先として希望する携帯電話会社 半数以上が「au (KDDI)」

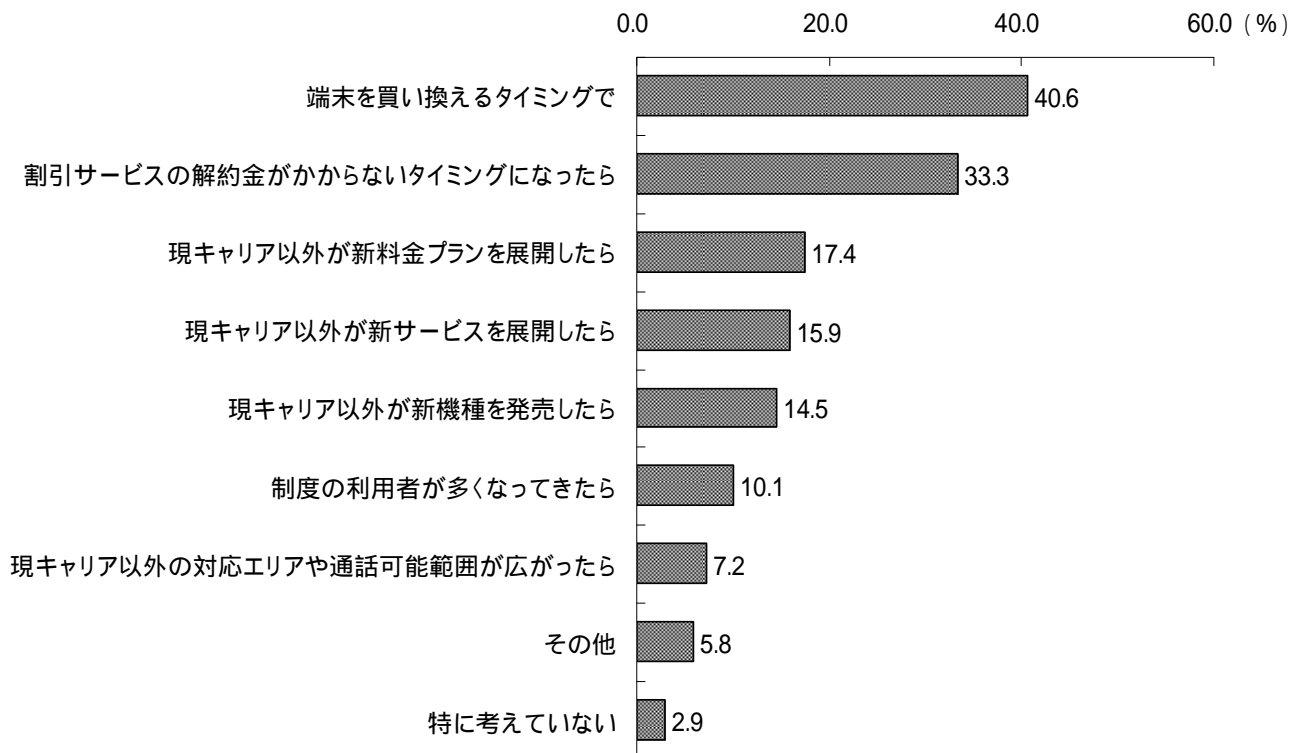
現時点で「番号ポータビリティ制度」の利用意向がある人(7%)に、どのキャリアに変更したいか尋ねたところ、半数以上の人々が「au (KDDI)」と回答しました。

また、キャリアを変更する希望時期は、「端末を買い換えるタイミングで」が4割以上を占めトップでした。

Q. 「番号ポータビリティ制度」を利用して、どの携帯電話会社(キャリア)に最も変更したいと思いますか？
 <ベース=現時点での番号ポータビリティ制度利用意向者 n=69>



Q. 「番号ポータビリティ制度」を利用して、いつ頃携帯電話会社(キャリア)を変更したいとお考えですか？(複数回答)
 <ベース=現時点での番号ポータビリティ制度利用意向者 n=69>



キャリアを変更しない理由 1位「現在の携帯電話会社に満足している」(61%)

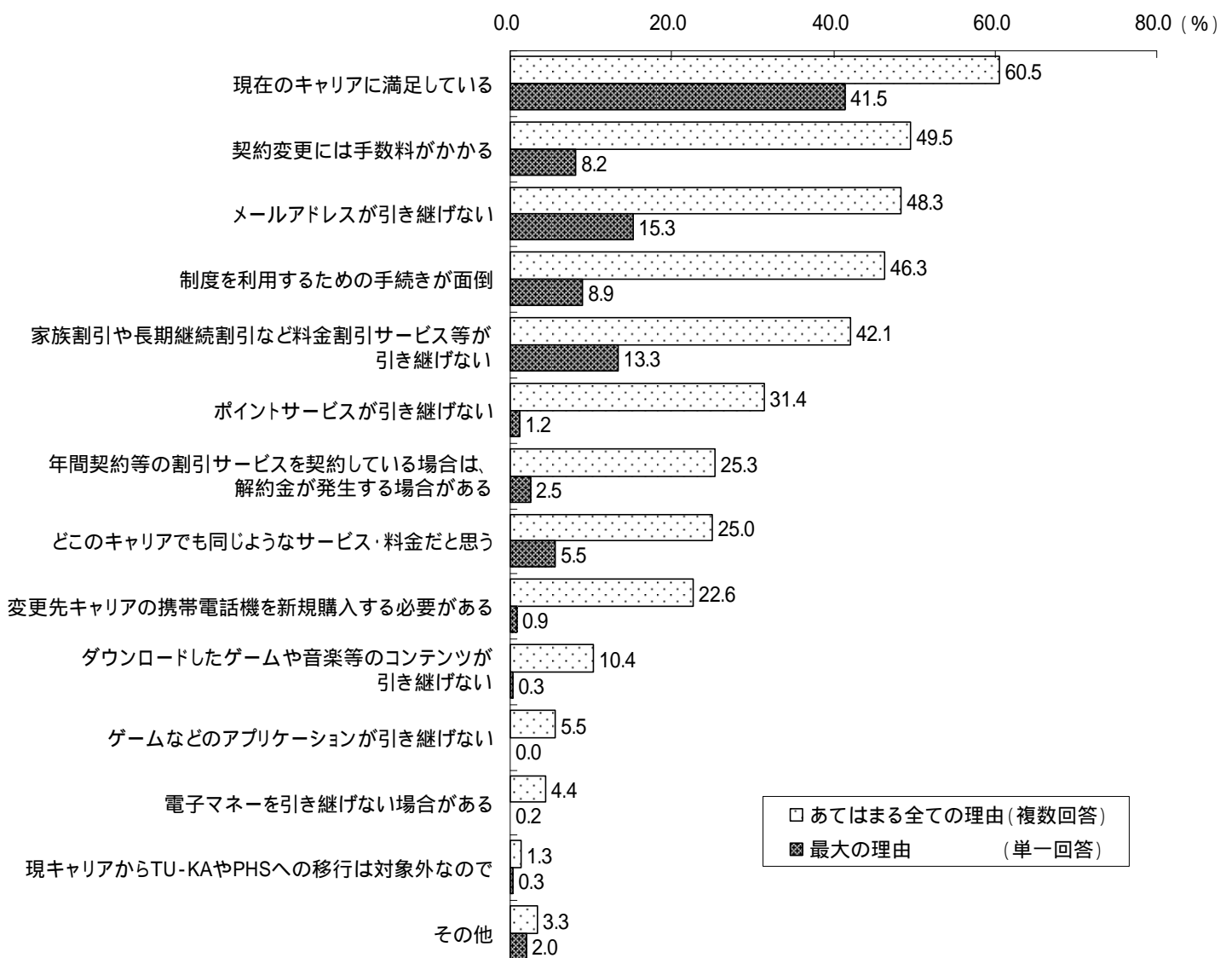
番号ポータビリティ制度を利用して、「キャリアを変更したいと思わない」「現時点では分からない」と回答している9割の回答者に、キャリアを変更しようと思わない理由としてあてはまるものを複数回答で尋ねたところ、トップは「現在のキャリアに満足している」(61%)となりました。

このほか、「変更には手数料がかかる」(50%)、「メールアドレスが引き継げない」(48%)、「手続きが面倒」(46%)、「料金割引サービスが引き継げない」(42%)などの理由が上位にあがりました。

同じ質問に対し、さらに、最大の理由1つに絞って回答してもらったところ、同様に「現在のキャリアに満足している」が42%でトップでしたが、他の理由に大きく差をつけて高い結果となりました。

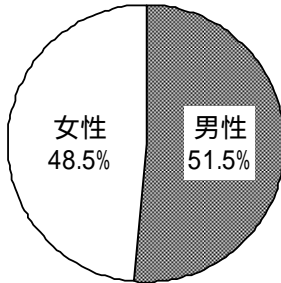
現キャリアへの満足度が高く、とくに変更の必要性を感じていない携帯ユーザが多いことや、手数料や移行の制約条件を考えて、キャリア変更意欲が高まらない携帯ユーザの心理が伺える結果となりました。

Q. あなたが「番号ポータビリティ制度」を利用する予定はない、
また現時点では利用するかどうか分からないと思う理由をお知らせ下さい。
<ベース=現時点での番号ポータビリティ制度非利用意向者 n=931>

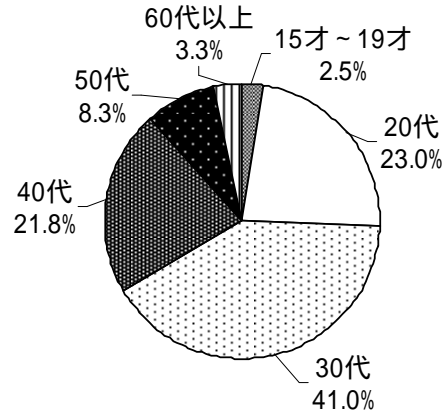


回答者プロフィール（携帯電話ユーザ）

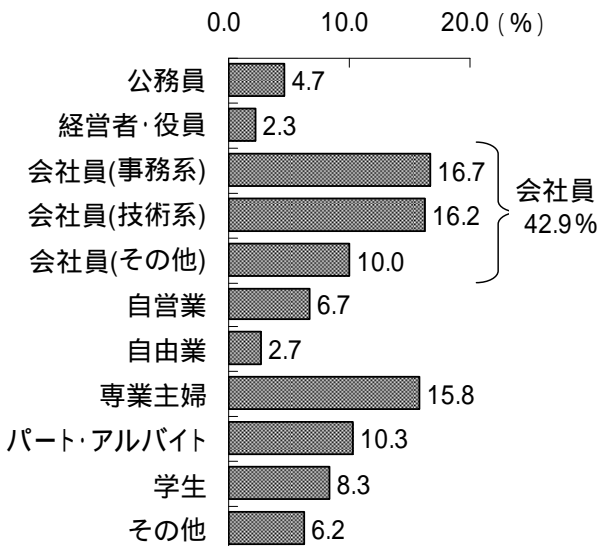
【性別 n=1030】



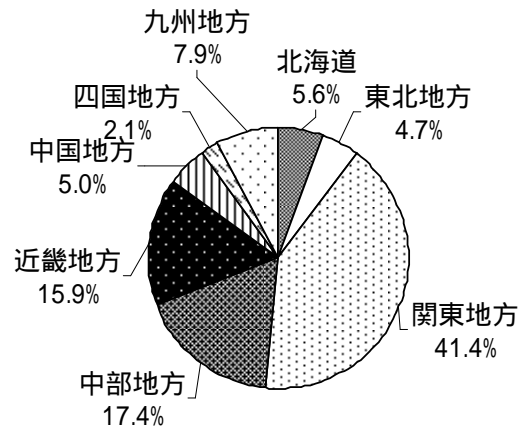
【年齢 n=1030】



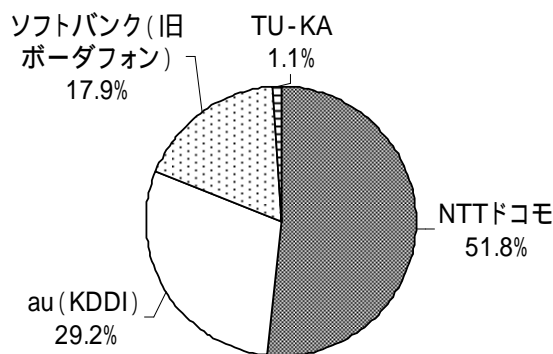
【職業 n=1030】



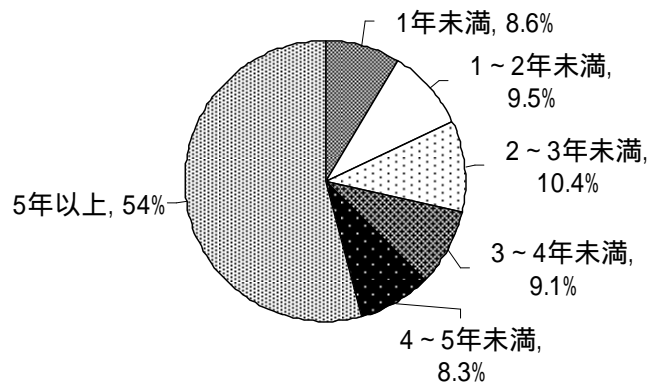
【居住地域 n=1030】



【現在の携帯電話会社 n=1030】



【現在の携帯電話会社の契約期間 n=1030】



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、独自開発した自動インターネットリサーチシステム【AIRs】(Automatic Internet Research System :エアーズ)を活用し、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声をインターネットで瞬時に集めるネットリサーチのリーディングカンパニーです。

国内 44 万人を超える消費者モニタ会員を対象に低価格・迅速なネットリサーチを提供する「QuickMill」を主力サービスに、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なマーケティングリサーチサービスを展開しています。

社名	株式会社マクロミル
本社	東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL	www.macromill.com
設立	2000 年 1 月 31 日
資本金	8 億 9,738 万円 2006 年 6 月末現在
上場取引所	東証一部 (証券コード : 3730)
代表者	代表取締役社長 辻本 秀幸
従業員数	155 名 2006 年 9 月末現在
事業内容	インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ)

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：西沢・関
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

(引用・転載時のクレジット表記のお願い)

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

< 例 > 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」